



これまでに集まったご寄付

# 1,671万8,495食

(2012年9月末現在)

ケニア、ムファンゴノ島

## 新たな支援先 ケニア・ビクトリア湖の島に給食を

TABLE FOR TWOでは、2012年1月からケニア西部のビクトリア湖に浮かぶムファンゴノ島、ルシंगा島の小学校で学校給食プログラムを開始しました。ムファンゴノ島の小学校1校、ルシंगा島の小学校2校の、約590人の子どもたちに、温かい学校給食を届けています。

ケニアは、経済、交通、物流など、様々な観点で東アフリカの中心国です。経済的にも、2008年、2009年をのぞく、ここ10年間のGDP成長率が5%前後と、安定的な成長を実現しています。一方で2012年5月、ケニア政府は国内が深刻な干ばつや作物栽培の失敗、食料不足の状態であると表明しました。国内の労働力の約60%が農業セクターに従事しており、GDPのおよそ3割を農業に頼るケニアでは、農業不振は国内の経済状況と人々の生活に大きな影響をおよぼします。

ムファンゴノ、ルシंगा両島では、島民のほとんどがビクトリア湖での漁業と自給自足農業に従事しています。ケニア本土から離れていることもあり、電気や医療施設等のインフラ整備が遅れています。

TFTが支援する小学校では、主食となるメイズ(トウモロコシ)からできたウガリの他、地元で収穫された野菜や豆、果物、ビクトリア湖で獲れたイワシなどが給食として提供されています。学校給食は、子どもたちの健康状態の改善に寄与し、学校へ継続的に通う大きなモチベーションとなっています。



### Lewieの気持ち

Lewieはムファンゴノ島に住む6才の女の子です。シングルマザーの母親と、4人の兄弟姉妹と暮らしています。これまでLewieの家では、夕食を食べずに眠りにつくこともしばしばでした。学校給食が始まり、彼女の生活は大きく変わりました。そんなLewieからメッセージが届きました。

「今は給食があるので学校に行くのがとても楽しみです。給食のおかげで、私はとても元気に過ごせています。」

### TABLE FOR TWO 代表より

日頃よりTFTの活動にご参加いただき、ありがとうございます。今号でご紹介しましたケニア・ムファンゴノ島、ルシंगा島での取り組みは、米国のNPO・Kagenoとの協同プロジェクトです。TFTとKagenoは、ルワンダ・バンダ村での学校給食の取り組みを2010年から協力して行っており、子どもたちの栄養改善、学校への就学率や成績の向上において大きな成果を上げています。この経験をケニアでの取り組みでも活かし、同様の成果を実現したいと思っています。



(代表・小暮真久)

### ケニア共和国

- 首都: ナイロビ
  - 民族: キクユ族22% ルヒヤ族14%  
ルオ族13% ほか
  - 言語: スワヒリ語、英語が公用語
- 東アフリカ地域の海運・空運のゲートウェイとして地理的要衝を占め、地域経済を先導している。近隣国との政治・経済的關係においては、東アフリカ共同体(EAC)を通じた域内協力を推進している。

